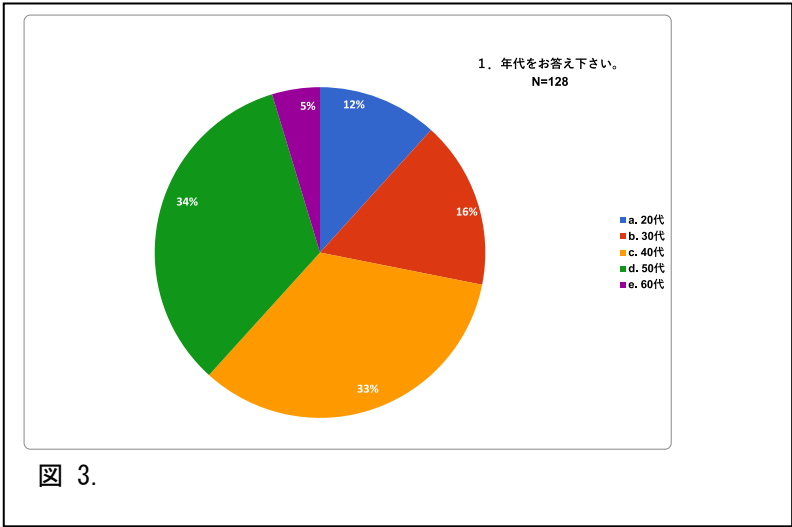
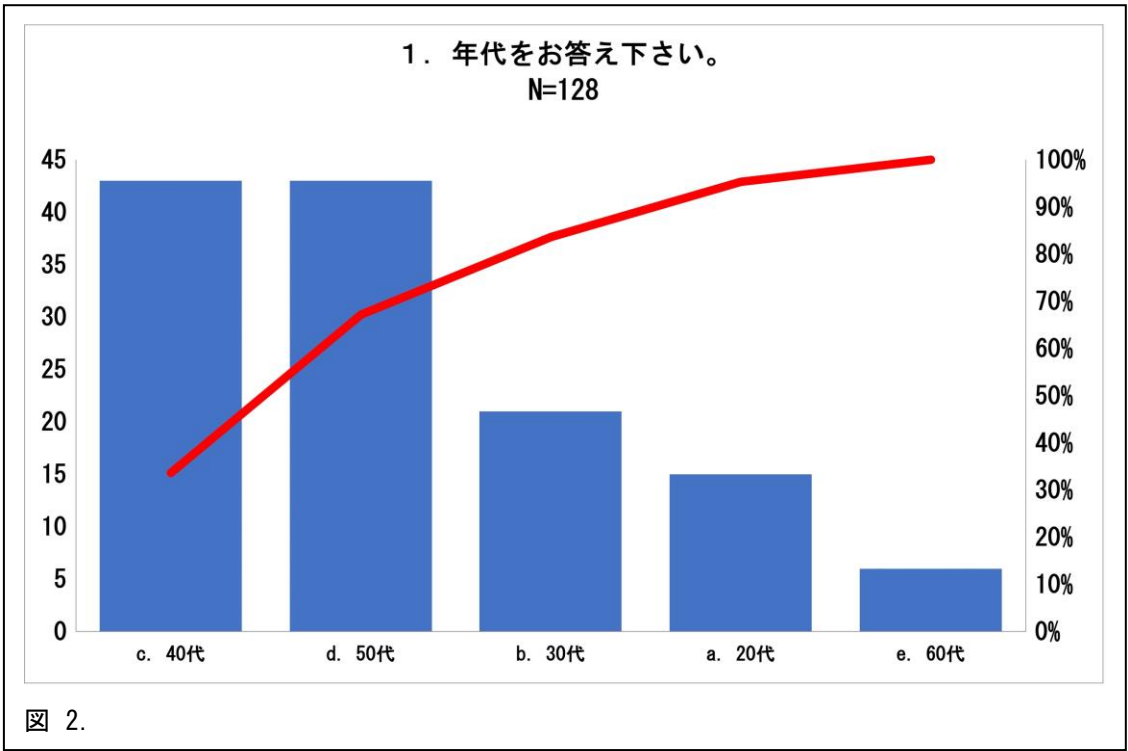


第3章

「中学校『総合的な学習の時間』 についての意識調査」結果

単純集計

1. 年代をお答え下さい。

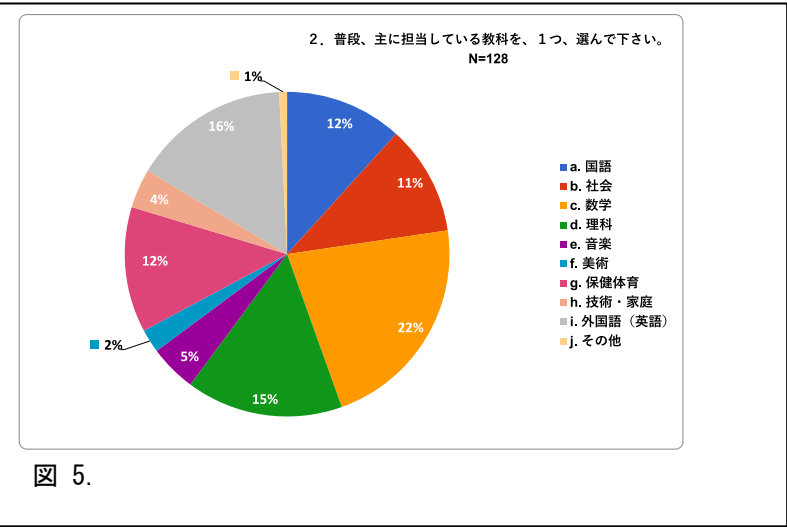
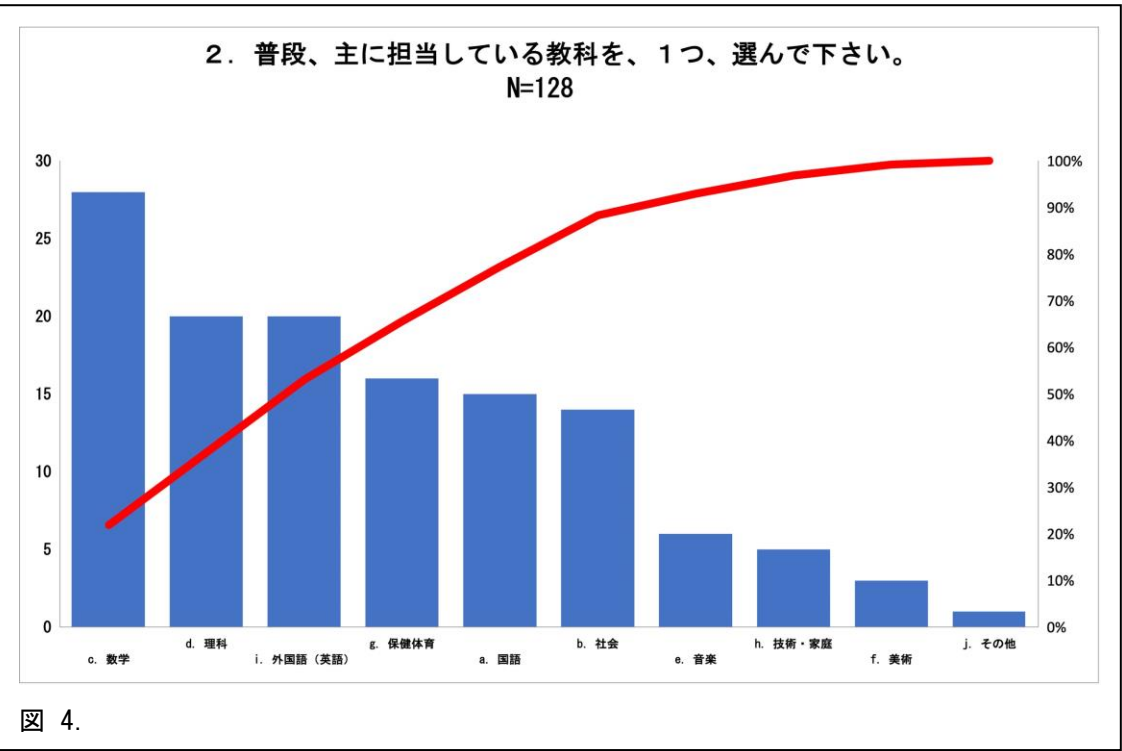


なお、割合は四捨五入を行っているため、質問項目によっては、各項目の割合の合計が、見かけ上 99%や 101%等になることもありえることを、念のため、付記させていただきます。

表 1.

1. 年代をお答え下さい。	度数	割合
a. 20代	15	12
b. 30代	21	16
c. 40代	43	34
d. 50代	43	34
e. 60代	6	5
計	128	101

2. 普段、主に担当している教科を、1つ、選んで下さい。



なお、割合は四捨五入を行っているため、質問項目によっては、各項目の割合の合計が、見かけ上 99%や 101%、102%等になることもありえることを、念のため、付記させていただきます。

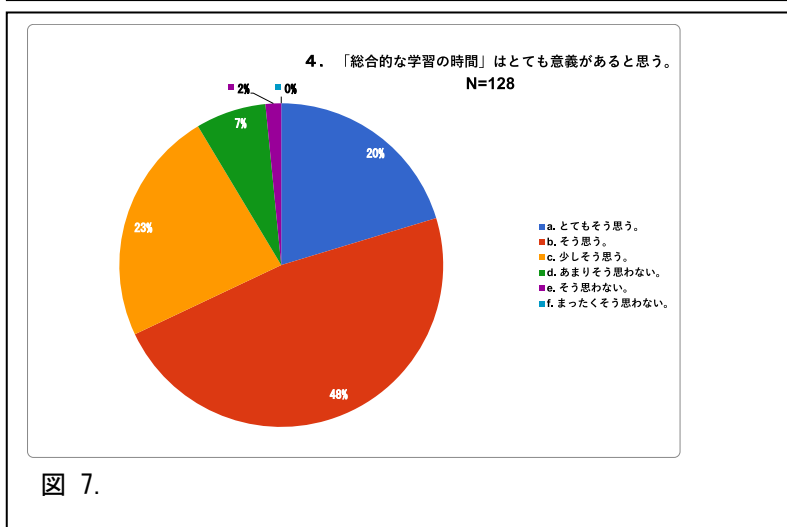
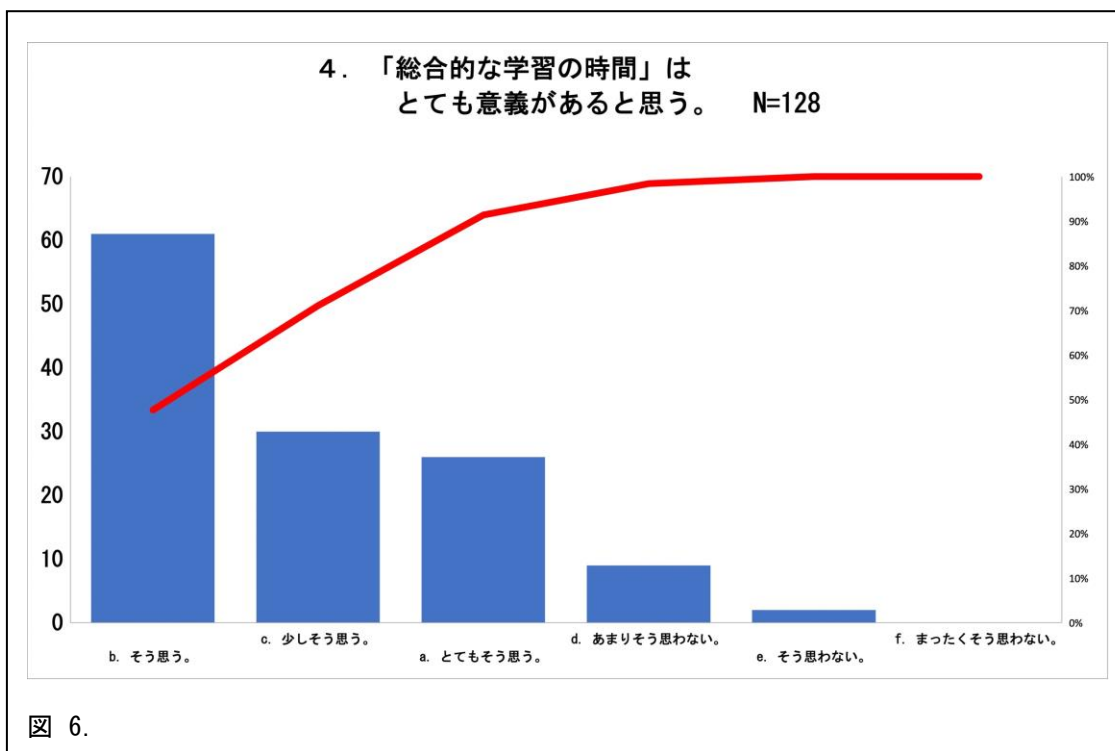
3. 2で「その他」を選んだ場合、具体的に教科名を書いて下さい。

なし

表 2.

2. 普段、主に担当している教科を、1つ、選んで下さい。	度数	割合
a. 国語	15	12
b. 社会	14	11
c. 数学	28	22
d. 理科	20	16
e. 音楽	6	5
f. 美術	3	2
g. 保健体育	16	13
h. 技術・家庭	5	4
i. 外国語 (英語)	20	16
j. その他	1	1
計	128	102

4. 「総合的な学習の時間」はとても意義があると思う。

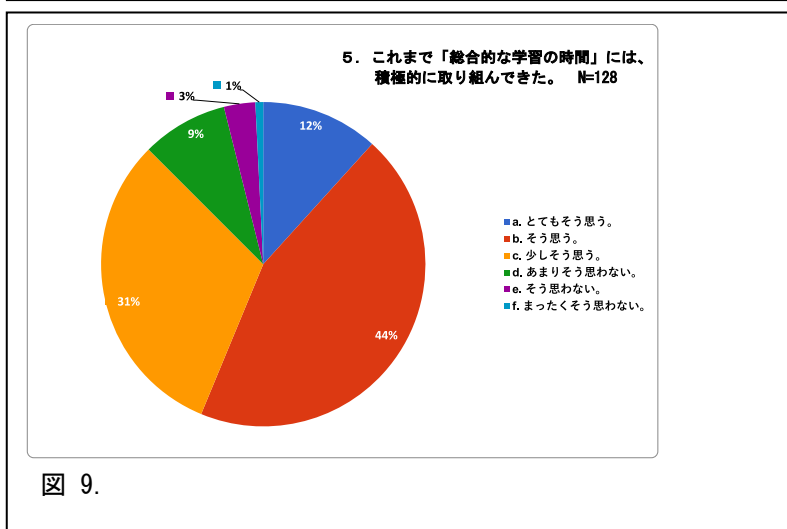
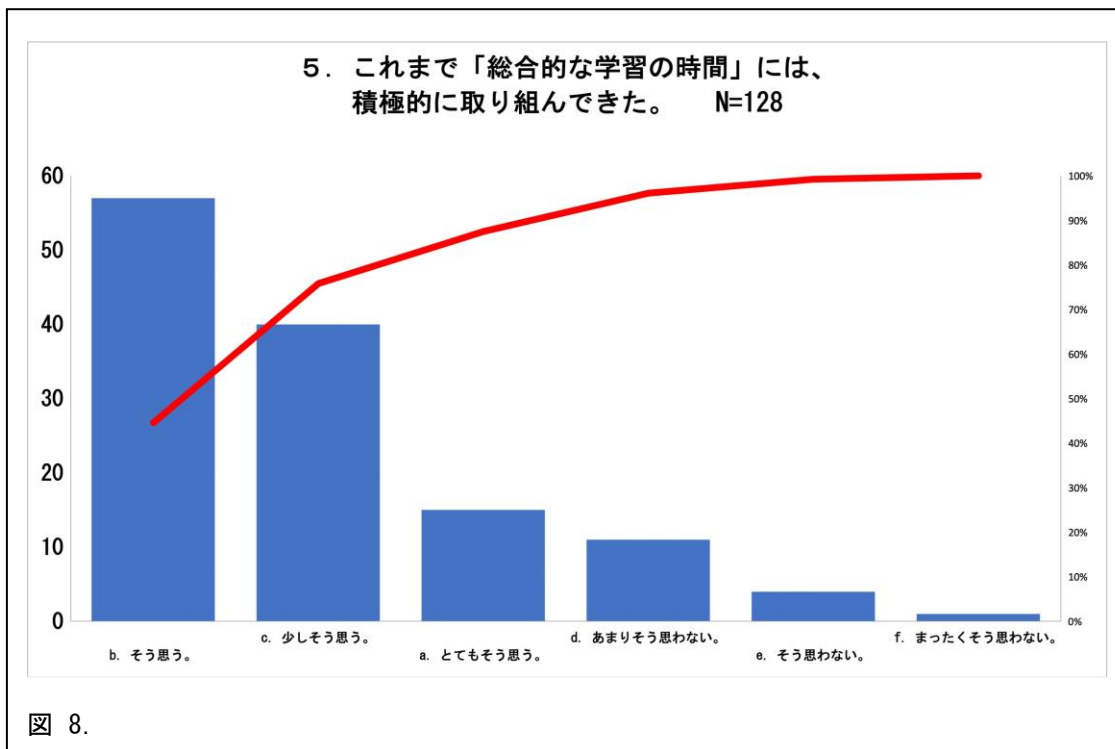


なお、割合は四捨五入を行っているため、質問項目によっては、各項目の割合の合計が、見かけ上 99%や 101%等になることもありえることを、念のため、付記させていただきます。

表 3.

4. 「総合的な学習の時間」は とても意義があると思う。	度数	割合
a. とてもそう思う。	26	20
b. そう思う。	61	48
c. 少しそう思う。	30	23
d. あまりそう思わない。	9	7
e. そう思わない。	2	2
f. まったくそう思わない。	0	0
計	128	100

5. これまで「総合的な学習の時間」には、積極的に取り組んできた。



なお、割合は四捨五入を行っているため、質問項目によっては、各項目の割合の合計が、見かけ上 99%や 101%等になることもありえることを、念のため、付記させていただきます。

表 4.

5. これまで「総合的な学習の時間」には、積極的に取り組んできた。	度数	割合
a. とてもそう思う。	15	12
b. そう思う。	57	45
c. 少しそう思う。	40	31
d. あまりそう思わない。	11	9
e. そう思わない。	4	3
f. まったくそう思わない。	1	1
計	128	101

6. 「総合的な学習の時間」で、主に取り上げてきた教科名や活動を、1つ、答えて下さい。

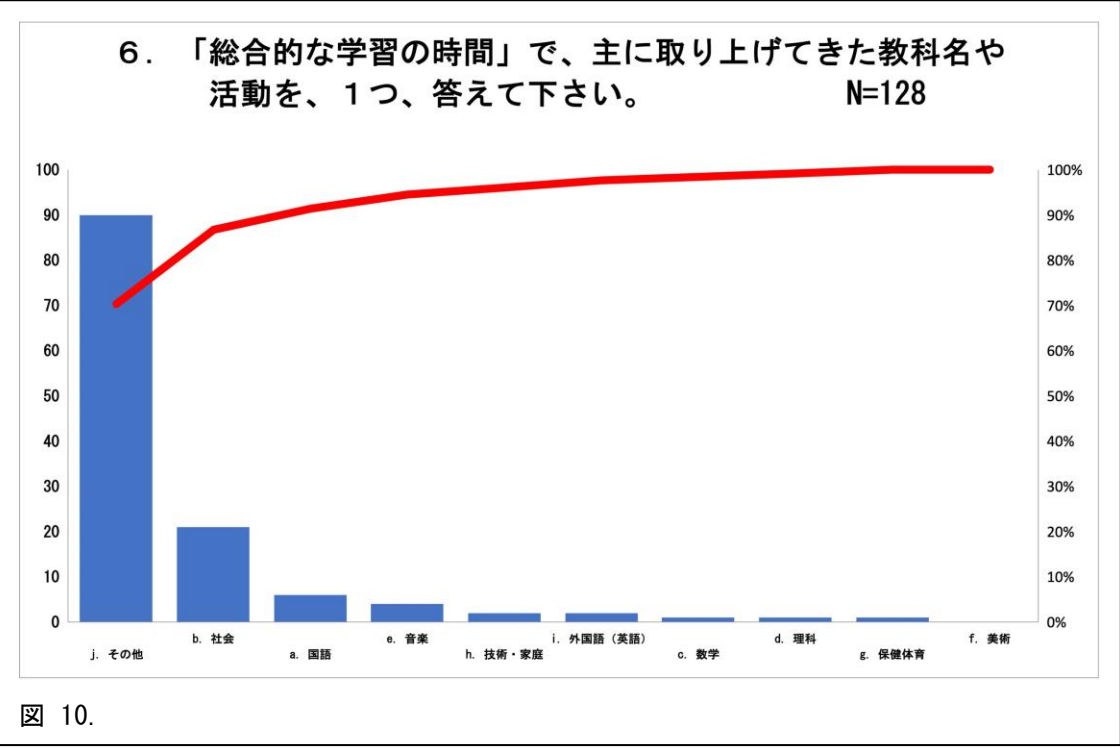


図 10.

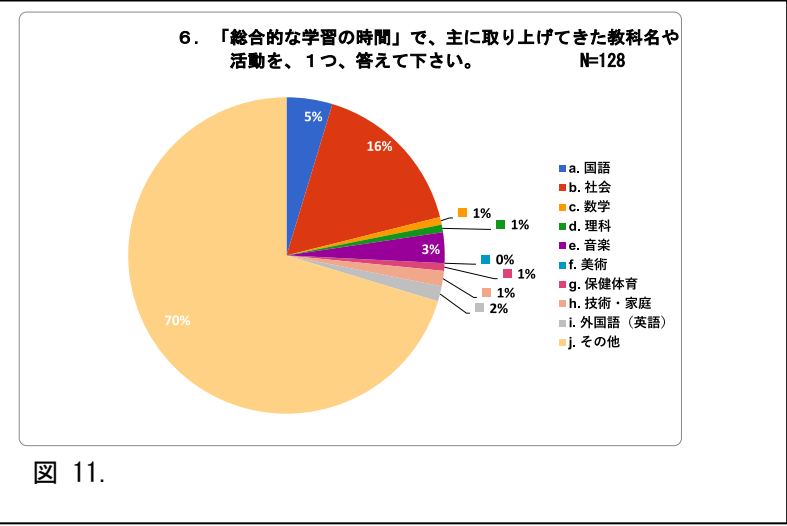


図 11.

なお、割合は四捨五入を行っているため、質問項目によっては、各項目の割合の合計が、見かけ上 99%や 101%、102%等になることもありえることを、念のため、付記させていただきます。

表 5.

6. 「総合的な学習の時間」で、主に取り上げてきた教科名や活動を、1つ、答えて下さい。	度数	割合
a. 国語	6	5
b. 社会	21	16
c. 数学	1	1
d. 理科	1	1
e. 音楽	4	3
f. 美術	0	0
g. 保健体育	1	1
h. 技術・家庭	2	2
i. 外国語（英語）	2	2
j. その他	90	70
計	128	101

7. 6で「その他の教科や、活動など」を選んだ場合、具体的に、内容を書いて下さい。

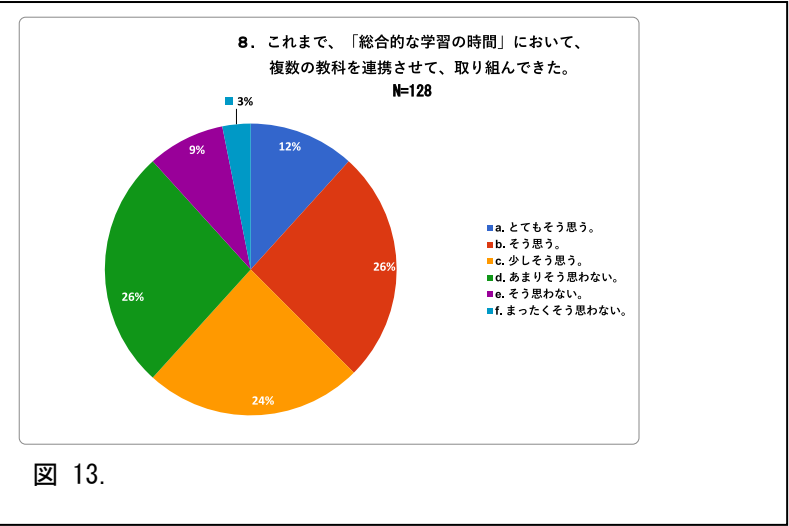
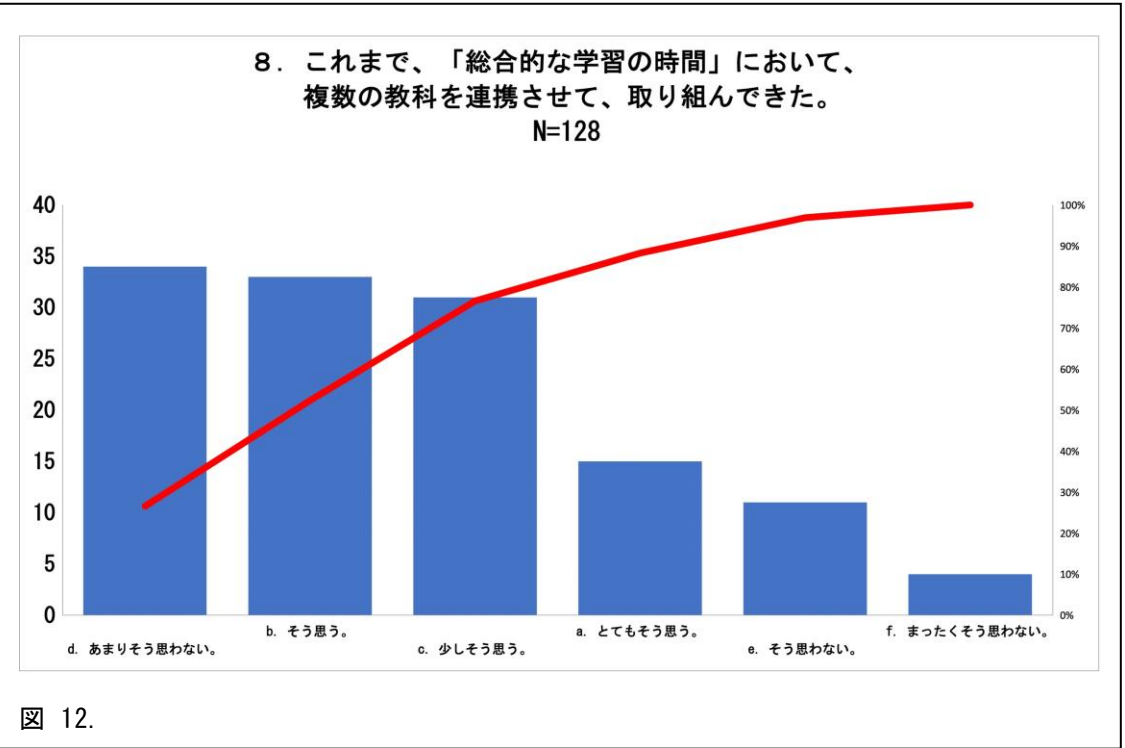
(個人が特定される可能性があるような事柄や、明らかな誤字・脱字がある場合を除き、基本的にそのまま掲載した。)

- ・総合に教科枠はないと思う。地域学習や体験学習、進路学習など幅広く取り組んできた。
- ・学活
- ・地域に学ぶ学習
- ・修学旅行、キャリア教育
- ・地域活性化への提案 地域のPR それにかかわる調査・研究 職場訪問 職場体験 福祉学習 福祉施設訪問
- ・地域を知る活動
- ・学年行事
- ・地域との繋がりのある活動
- ・地域の自然災害について、地域の町おこしなど
- ・私たちの町をより住みよくするための提案(環境)
- ・キャリア教育 生と性の学習 情報モラル教育 社会体験のまとめと発表など
- ・地域学習
- ・進路学習や、進路実現のためのゼミ学習
- ・高校調べなどの進路学習、修学旅行に向けた見学場所調べ
- ・学区内の特色調べ・高校調べ・販売学習
- ・〇〇市の良さを改めて知り、さらに良くするためのデザイン案をグループごと考え、発表、発信する活動を行った。
- ・地域の文化に学ぶ
- ・キャリア教育 職場体験を通して生き方について学ぶ
- ・進路学習、生き方学習、国際交流
- ・地域に関すること 職場体験 各自のテーマ学習
- ・地域発信について
- ・ふるさと学
- ・合唱やキャリア教育
- ・学校行事 進路指導
- ・ふるさとをよく知る活動
- ・ふるさと学習
- ・地域の発展に貢献することをテーマに
- ・地域学習
- ・地域
- ・キャリア教育
- ・キャリアについて
- ・行事や校外学習などに関連させて調べ学習や発表などの活動

- ・ 体育祭、合唱コンクールなどの行事の練習
- ・ 地域学習
- ・ 進路(高校に関すること、職業に関すること、将来に関することなど)
- ・ 学年行事関係
- ・ キャリア学習、進路学習
- ・ 進路、ボランティア
- ・ 地域に関わる内容
- ・ 進路関係のこと(仕事について、高校調べ) ゼミの開講(国際理解など)
- ・ 畑作業、募金活動
- ・ 福祉(福祉施設老人ホームの訪問)
- ・ 国際交流をテーマに、ALTとの交流や山形空港を利用する台湾人へのおもてなし活動を行った。
- ・ 学校近隣の地域家庭をまわって、アルミ缶回収を行ったり、地域の主要箇所に出向いての清掃活動を行ったりして、「地域環境美化活動」に取り組んできた。
- ・ 職業 進路 学校行事関連
- ・ 職業
- ・ 住んでいる市町村の産業等
- ・ 職業講話や修学旅行(学年行事)に関わる準備、発表など
- ・ 進路学習
- ・ 地域とつながるをテーマに、駅の清掃活動や老人ホームに訪問しての清掃や入居者とのお話、JAのさくらんぼ収穫手伝いなど、グループに分かれて活動しました。活動したことをまとめ、互いに発表し合いました。
- ・ 学び方、いのちの学習、修学旅行関連、地域を学んだCM作り、地域に発信する合唱など、教科にとらわれない総合的な内容
- ・ 進路学習と兼ねて、「地域を知る」「職業を知る」など
- ・ 地域・職業・進路
- ・ 修学旅行、校外学習
- ・ 進路学習、キャリア関連
- ・ 平和劇、地域調べ、地域CMづくり
- ・ 平和学習
- ・ 地域についての調べ学習やまとめの発表
- ・ 進路指導
- ・ 進路に関する学習
- ・ 米づくり 防災学習 郷土調べ
- ・ 教科横断的な内容を含む、探究的活動
- ・ 学年行事に関係する調べ活動や発表など
- ・ 進路学習
- ・ 進路学習 郷土学習 修学旅行における東京の調べ学習
- ・ 米づくり 地域学習 進路学習

- ・地域に学ぶ活動
- ・キャリア教育やボランティア活動などを行ってきた。
- ・職場体験学習や上級学校訪問等の進路学習
- ・ふるさと学習―地域の活性化のために何が必要か、調査・取材し、提言内容をまとめた。
- ・生きがいを探す指導
- ・職業、進路にかかわること
- ・農業（野菜栽培）
- ・福祉体験（盲導犬、車イスなど 施設訪問） 立志式 町内での勤労体験（農場中心）
- ・学校での取り組み 命や職業などを考えたもの
- ・調べ学習 職業体験のまとめ 修学旅行先の歴史文化等の事前学習など
- ・行事と関係づけをして取り組むことが多いです。または地域との関わりについてです。
- ・平和教育
- ・修学旅行やわっく Work のプレゼン発表
- ・「地域」に関わることを他の教科とリンクして学ばせること
- ・いのちの教育などの講話 職業についての講話
- ・行事を行うための準備やまとめ
- ・進路学習など
- ・地域との連携行事 キャリア教育活動 学校独自の「いのちの教育」活動 学校の研究である「田んぼの学校」を通した活動
- ・田んぼの学校「種もみ植え・田植え・雑草とり・稲刈り・脱穀…」 さくやざわいのちの日「自他のいのちや平和の大切さなどを考える全校生」 ふるさと学習「地域を知り、それを発信、また地域がさらに活性化するための提案を行う」

8. これまで、「総合的な学習の時間」において、複数の教科を連携させて、取り組んできた。



なお、割合は四捨五入を行っているため、質問項目によっては、各項目の割合の合計が、見かけ上 99%や 101%等になることもありえることを、念のため、付記させていただきます。

表 6.

8. これまで、「総合的な学習の時間」において、複数の教科を連携させて、取り組んできた。	度数	割合
a. とてもそう思う。	15	12
b. そう思う。	33	26
c. 少しそう思う。	31	24
d. あまりそう思わない。	34	27
e. そう思わない。	11	9
f. まったくそう思わない。	4	3
計	128	101

9. 8で複数の教科を連携させて取り組んできた場合、
それらの教科名などを具体的に書いて下さい。

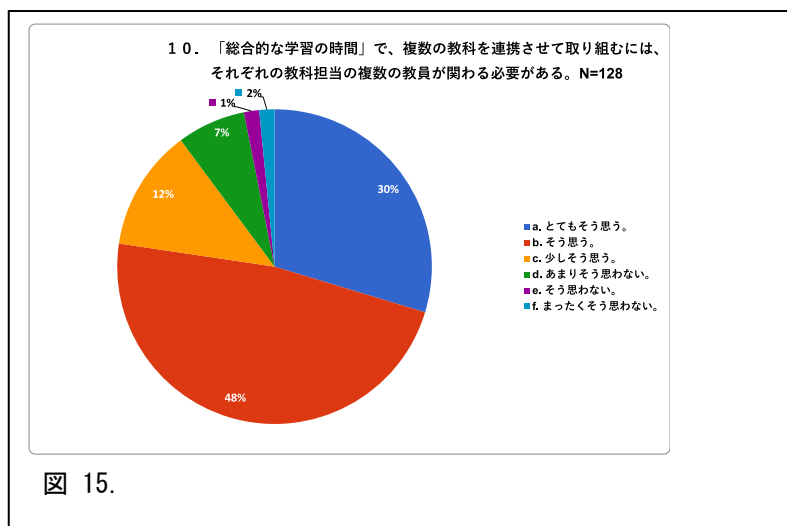
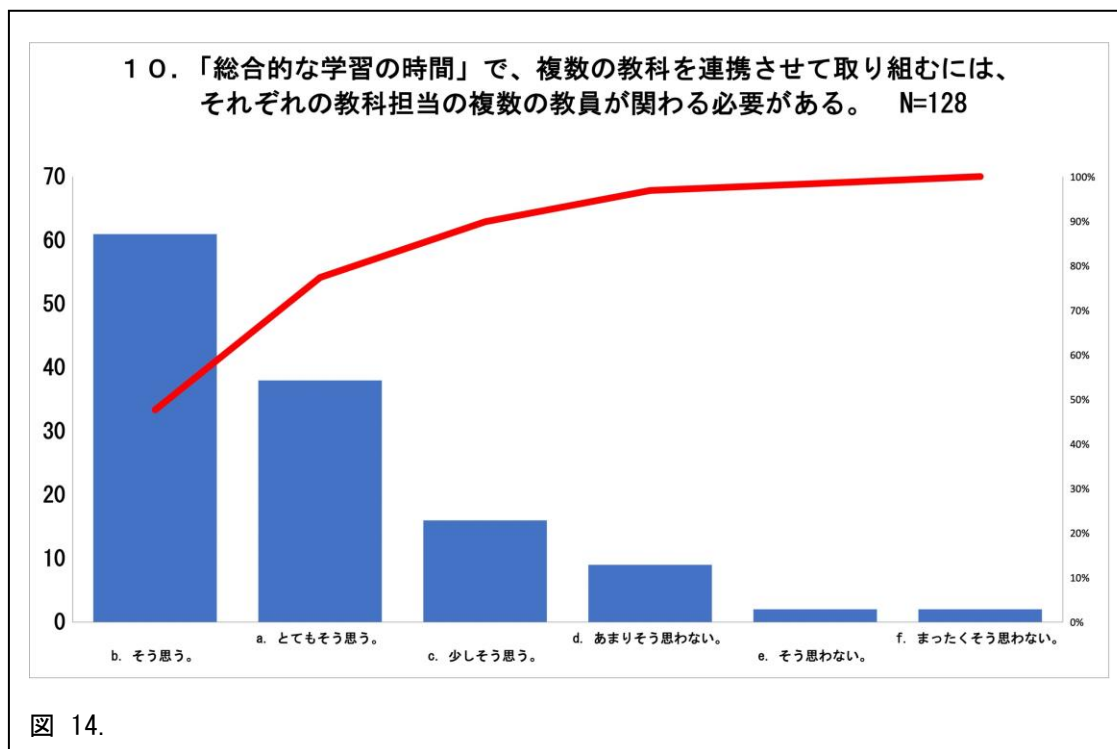
(個人が特定される可能性があるような事柄や、明らかな誤字・脱字がある場合を除き、
基本的にそのまま掲載した。)

- ・強いて言えば、社会、国語、技術家庭、理科、音楽、美術など
- ・課題をレポートにまとめる活動 調べ学習＝社会科（理科） まとめの表現＝国語科 統計資料作成＝数学 レイアウト（イラスト）＝美術
- ・総合的な学習の時間の内容で教科の学習に関連して取り組むことができるものについては、カリキュラムマネジメントで教科で取り組むことはあっても【例：国語の学習として礼状を書く】、教科を総合的な学習として扱うことはおかしい。地域の特産物を育てることは技術・理科？、栽培している人に質問することは社会？提案を原稿にすることは国語？発表することは？教科の枠にとらわれないのは総合的な学習だと思います。
- ・社会科と国語、美術など
- ・美術、英語、社会
- ・社会、国語、英語
- ・数学、社会、家庭科
- ・技術 道徳 保健体育 社会科 英語
- ・国語と社会
- ・社会、国語、家庭
- ・全ての教科
- ・社会科での地域学習で得た地域の食文化と家庭科の調理実習の組み合わせ
- ・社会・理科・国語・英語
- ・社会 国語 理科
- ・国語、社会
- ・まとめとして発表する際、国語として発表の流れを考え、技術としてパワーポイントを使用している。
- ・全教科
- ・英語や社会、理科などに絡めた内容で、国際理解教育や環境教育、福祉などさまざま。
- ・学年で各担当に分かれ、得意分野を教えつつ、自らの課題解決に向けた調べ学習やそのサポート（講師を呼んでの講座を開くなど）を行った。
- ・外国語、社会、国語、保健体育、美術、技術、家庭科
- ・社会 国語 技術・家庭 理科
- ・国語と社会と技術
- ・社会 理科 学活
- ・技術・理科・社会・数学
- ・学活、社会、音楽、英語

- ・理科の科学的に分析や比較をし、技術での PC 活用や国語の発表力など
- ・社会、技術、国語
- ・国語 技術
- ・国語と技術や美術
- ・国語 職場体験などの訪問先へ文書で連絡する際に
- ・社会や国語
- ・社会：身近な地域の調査 技術：情報とコンピュータ（プレゼンテーションソフトの活用）
- ・地域のことを調べる際に社会科の調べ学習と連携させて行った(2 学年)
- ・国語
- ・国語と社会
- ・国語、社会、美術、英語、音楽
- ・国語 英語
- ・国語
- ・英語 家庭科
- ・社会、国語、技術
- ・英語やその他外国語（ドイツ語～国際交流員とのからみで）
- ・国語と社会
- ・国語 技術家庭 社会
- ・社会 数学 理科 音楽
- ・音楽関連の舞台発表と美術のステージバック絵制作。技術科での映像作成。様々な要素を取り入れての学年発表をしています。
- ・音楽、福祉、体育
- ・社会、技術家庭、美術、国語
- ・固定の教科とより、総合力 社会で〇〇市の将来を展望し、政策を考えさせた
- ・技術家庭、社会、音楽
- ・社会、国語、理科、美術、技術・家庭
- ・社会科
- ・国語 音楽 社会
- ・国語 社会
- ・理科、数学、音楽、体育、社会など
- ・国語、社会、技術・家庭
- ・日本の歴史についての調べ学習を行った。
- ・社会
- ・理科
- ・理科 社会 音楽 英語 国語
- ・国語、社会
- ・技術 家庭 社会
- ・社会（地域の歴史・文化） 理科（防災など）

- ・ 社会科や学級活動
- ・ 国語—お礼状作成、依頼状、敬語の使い方、レポートの書き方、ポスターの書き方など 社会—歴史地理；地域の様子調べなど 美術—パンフレット作製など
- ・ 社会、（原文のママ）
- ・ 全教科
- ・ 国語 英語 数学 社会 体育
- ・ 社会科 歴史等
- ・ 理科 社会 保健体育
- ・ 技術 社会 理科など
- ・ 「田んぼの学校」を通してカリキュラムマネジメントを図ってきたので全ての教科が含まれる
- ・ 数学 小学生が調べていた生育状況（苗の長さ）をもとに中2の関数の授業を行った。中3「標本調査」の学習の題材にした。

10. 「総合的な学習の時間」で、複数の教科を連携させて取り組むには、
それぞれの教科担当の複数の教員が関わる必要がある。



なお、割合は四捨五入を行っているため、質問項目によっては、各項目の割合の合計が、見かけ上 99%や 101%、102%等になることもありえることを、念のため、付記させていただきます。

表 7.

10. 「総合的な学習の時間」で、 複数の教科を連携させて取り組む には、それぞれの教科担当の 複数の教員が関わる必要がある。		
	度数	割合
a. とてもそう思う。	38	30
b. そう思う。	61	48
c. 少しそう思う。	16	13
d. あまりそう思わない。	9	7
e. そう思わない。	2	2
f. まったくそう思わない。	2	2
計	128	102

1 1. 「総合的な学習の時間」において、各教科担当の複数の先生でもって、連携して担当したいが、そのための打ち合わせの時間が足りないと思う。

1 1. 「総合的な学習の時間」において、各教科担当の複数の先生でもって、連携して担当したいが、そのための打ち合わせの時間が足りないと思う。
N=128

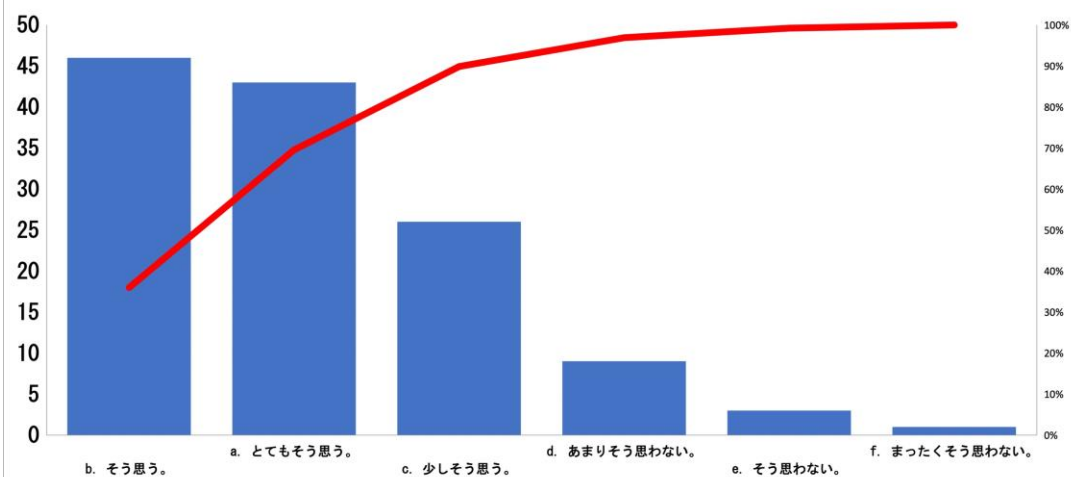


図 16.

1 1. 「総合的な学習の時間」において、各教科担当の複数の先生でもって、連携して担当したいが、そのための打ち合わせの時間が足りないと思う。 N=128

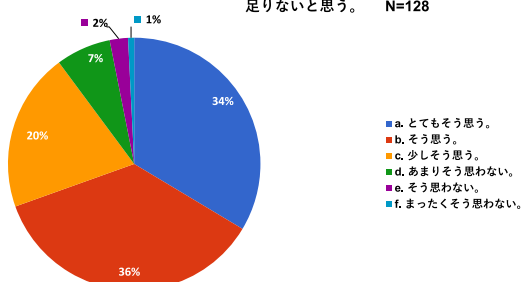


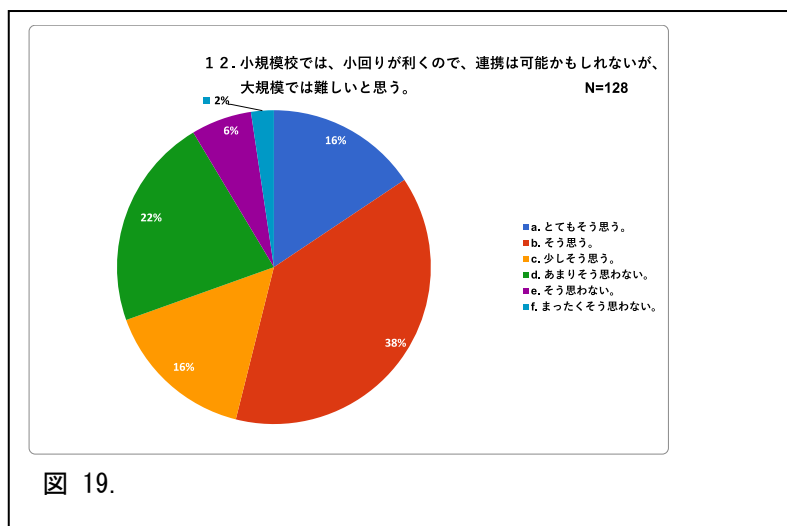
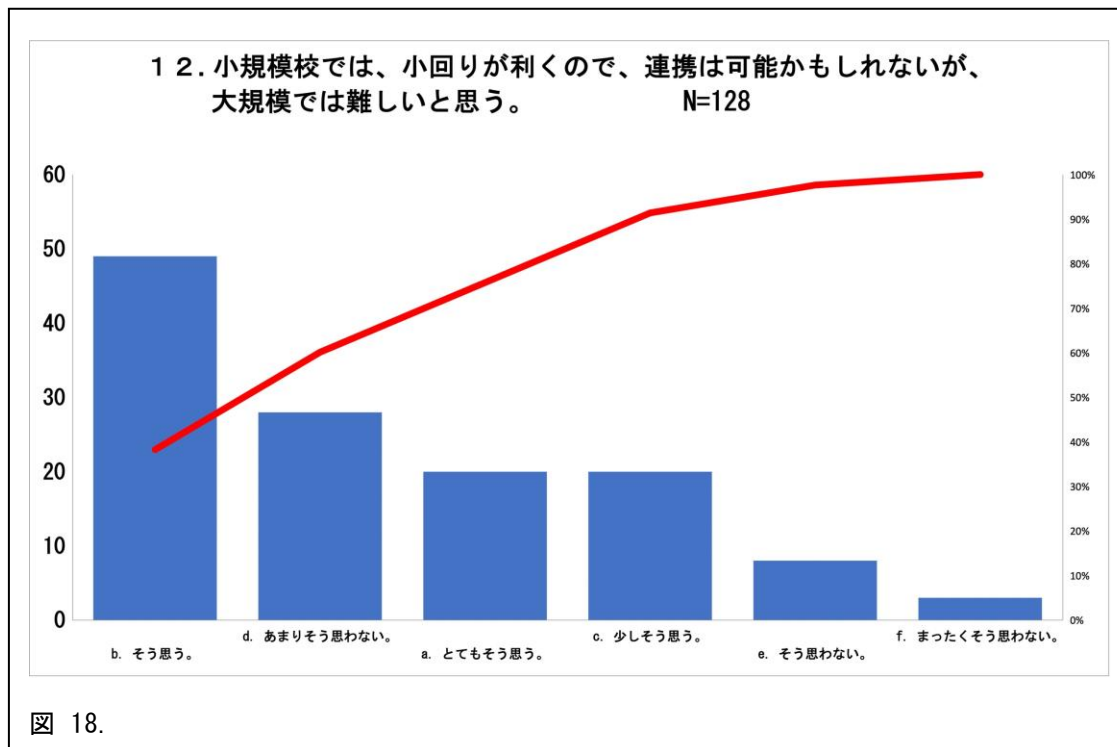
図 17.

なお、割合は四捨五入を行っているため、質問項目によっては、各項目の割合の合計が、見かけ上 99%や 101%等になることもありえることを、念のため、付記させていただきます。

表 8.

1 1. 「総合的な学習の時間」において、各教科担当の複数の先生でもって、連携して担当したいが、そのための打ち合わせの時間が足りないと思う。	度数	割合
a. とてもそう思う。	43	34
b. そう思う。	46	36
c. 少しそう思う。	26	20
d. あまりそう思わない。	9	7
e. そう思わない。	3	2
f. まったくそう思わない。	1	1
計	128	100

12. 小規模校では、小回りが利くので、連携は可能かもしれないが、大規模では難しいと思う。

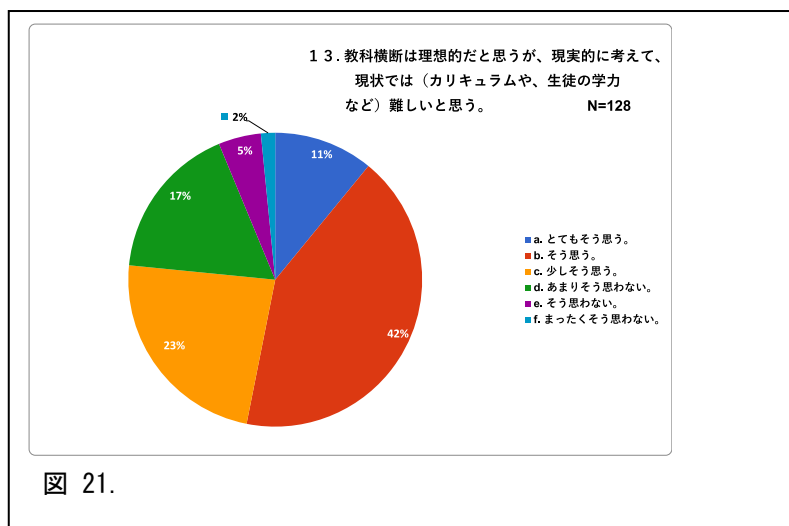
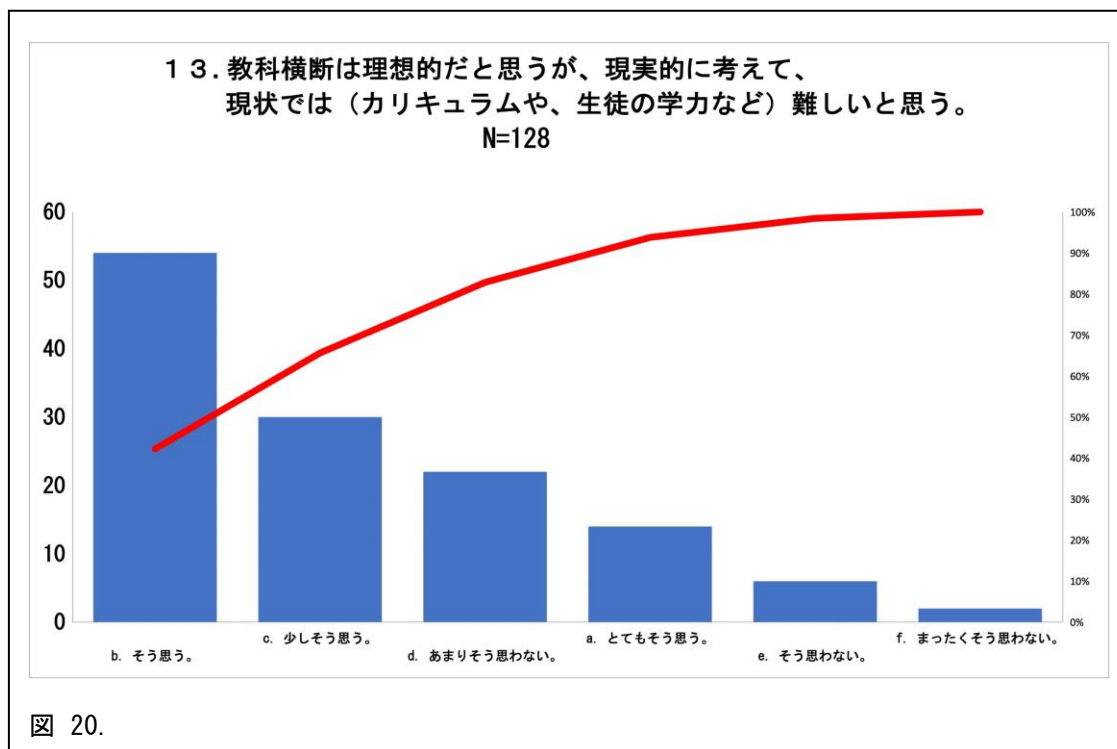


なお、割合は四捨五入を行っているため、質問項目によっては、各項目の割合の合計が、見かけ上 99%や 101%等になることもありえることを、念のため、付記させていただきます。

表 9.

12. 小規模校では、小回りが利くので、連携は可能かもしれないが、大規模では難しいと思う。	度数	割合
a. とてもそう思う。	20	16
b. そう思う。	49	38
c. 少しそう思う。	20	16
d. あまりそう思わない。	28	22
e. そう思わない。	8	6
f. まったくそう思わない。	3	2
計	128	100

13. 教科横断は理想的だと思うが、現実的に考えて、
現状では（カリキュラムや、生徒の学力など）難しいと思う。

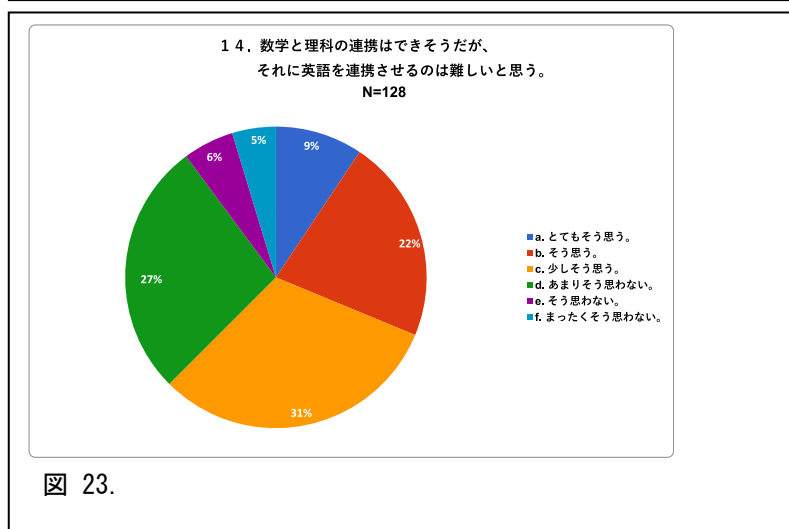
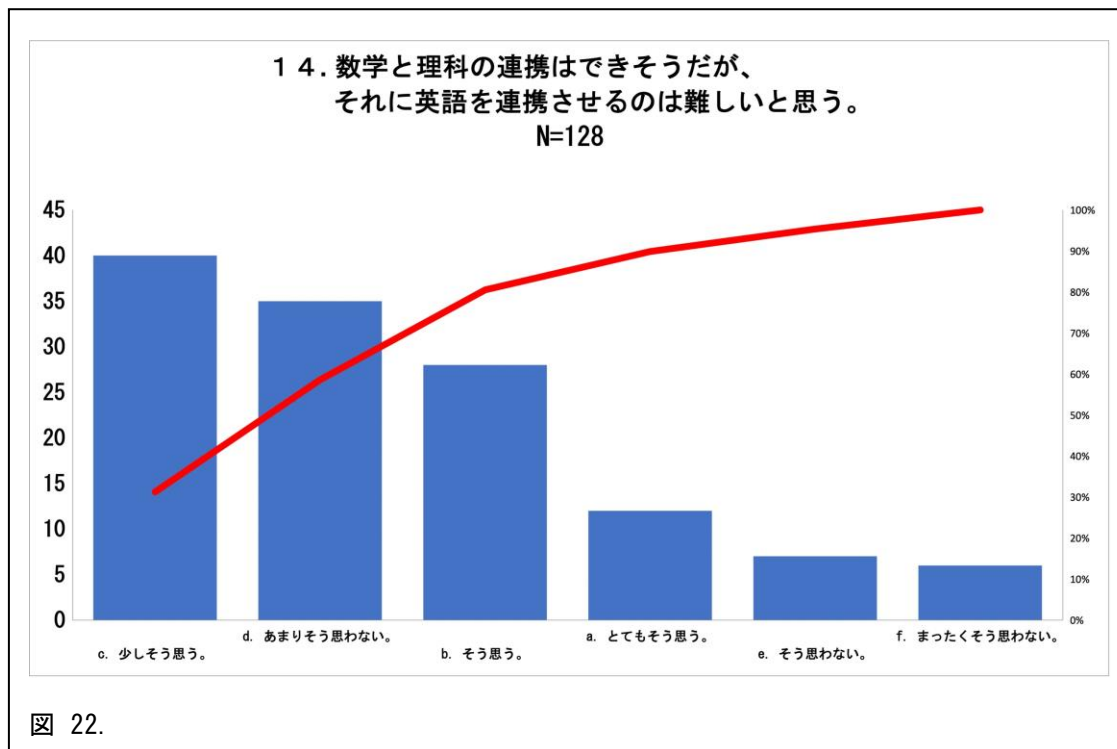


なお、割合は四捨五入を行っているため、質問項目によっては、各項目の割合の合計が、見かけ上 99%や 101%等になることもありえることを、念のため、付記させていただきます。

表 10.

13. 教科横断は理想的だと思うが、現実的に考えて、現状では（カリキュラムや、生徒の学力など）難しいと思う。	度数	割合
a. とてもそう思う。	14	11
b. そう思う。	54	42
c. 少しそう思う。	30	23
d. あまりそう思わない。	22	17
e. そう思わない。	6	5
f. まったくそう思わない。	2	2
計	128	100

1 4. 数学と理科の連携はできそうだが、それに英語を連携させるのは難しいと思う。

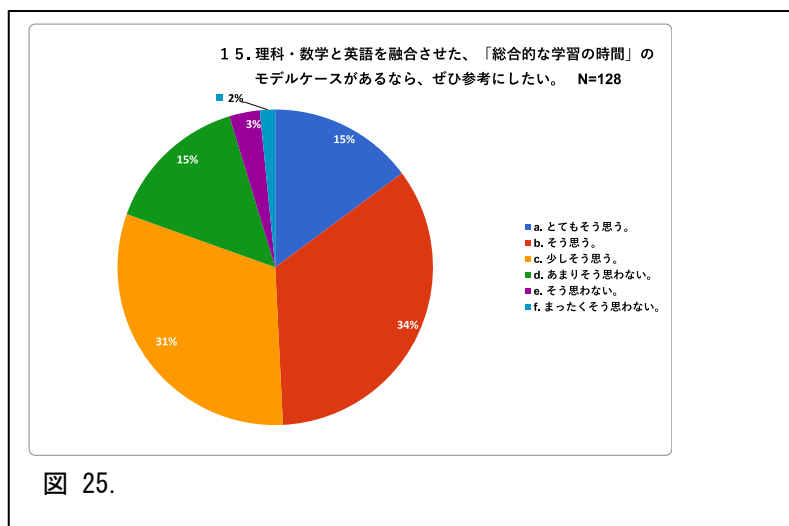
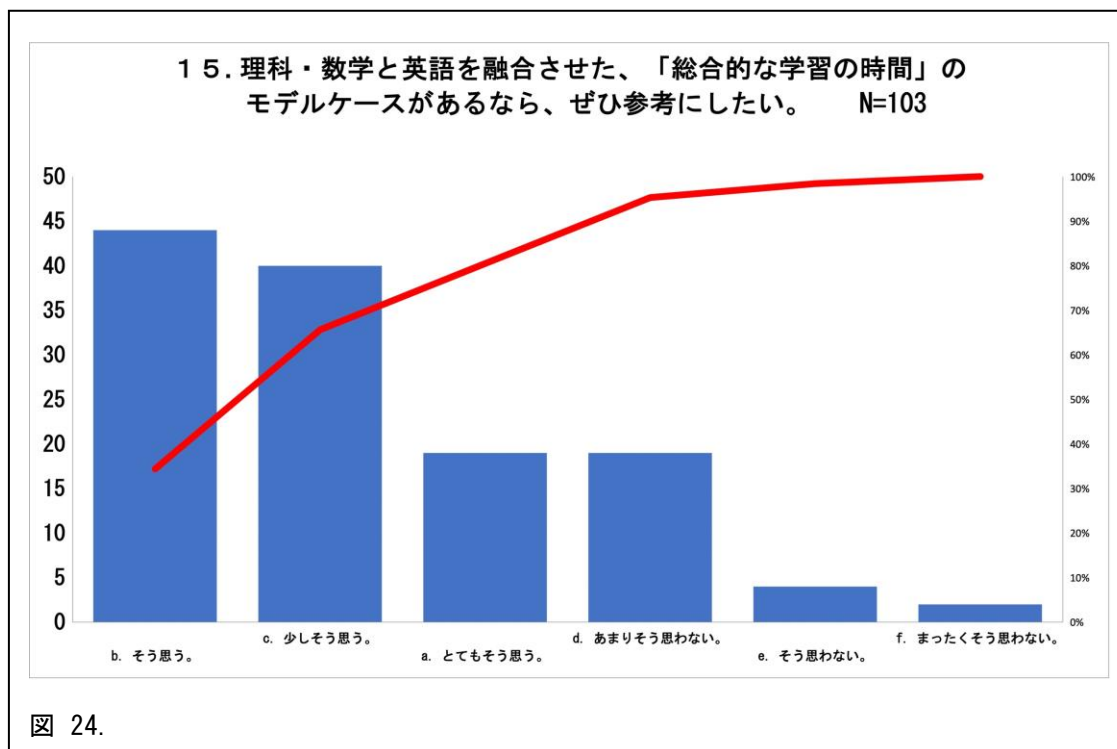


なお、割合は四捨五入を行っているため、質問項目によっては、各項目の割合の合計が、見かけ上 99%や 101%等になることもありえることを、念のため、付記させていただきます。

表 11.

1 4. 数学と理科の連携はできそうだが、それに英語を連携させるのは難しいと思う。	度数	割合
a. とてもそう思う。	12	9
b. そう思う。	28	22
c. 少しそう思う。	40	31
d. あまりそう思わない。	35	27
e. そう思わない。	7	5
f. まったくそう思わない。	6	5
計	128	99

15. 理科・数学と英語を融合させた、「総合的な学習の時間」のモデルケースがあるなら、ぜひ参考にしたい。



なお、割合は四捨五入を行っているため、質問項目によっては、各項目の割合の合計が、見かけ上 99%や 101%等になることもありえることを、念のため、付記させていただきます。

表 12.

15. 理科・数学と英語を融合させた、「総合的な学習の時間」のモデルケースがあるなら、ぜひ参考にしたい。	度数	割合
a. とてもそう思う。	19	15
b. そう思う。	44	34
c. 少しそう思う。	40	31
d. あまりそう思わない。	19	15
e. そう思わない。	4	3
f. まったくそう思わない。	2	2
計	128	100

16. 「中学校『総合的な学習の時間』」について、ご自由にお考えをお書き下さい。

（個人が特定される可能性があるような事柄や、明らかな誤字・脱字がある場合を除き、基本的にそのまま掲載した。）

- ・ 探究的な活動は様々考えられるが、合教科は難しそう。
- ・ 行事の内容だけが踏襲されていき教科で学んだことを使っている意識はとても薄れやすいと感じる。生徒の思いを行動にする時間にしたい。
- ・ 早く無くなってほしい。
- ・ アンケートの内容を再度検討した方が良いのではと思います。6. 総合で主に取り上げてきた教科（そもそも教科を取り上げるものではありません。） 10. 総合的な学習は、そもそも複数の教員が関わらないとできません。 12. 小規模校では可能だと思うのか 大規模校では難しいと思うのか どちらを聞きたいのか 14. 数学と理科の連携ができると思うのか 英語を連携させることが難しいと感じているのか どちらを聞きたいのか その他の質問も「総合的な学習の意義を感じている教師は積極的に取り組んでいるが、そうでない教師は取り組んでいない」「複数の教員が関わって指導したいと思っているが時間が足りない」「特に大規模校では難しい」というような結論ありきの質問になっていると思います。このアンケートをすべての教員が解答する時間が惜しまれます。総合的な学習の時間の現状の調査は県教委でも行っています。その資料も参考にしてください。
- ・ 様々な実践がわかれば、知りたいと思います。
- ・ 学年ごとに総合担当を決め、年度始めに3年間を見通したプランを立てています。生徒の探究の幅が広がるほど、対応の難しさを感じます。
- ・ 実社会と直接かかわりを持ち、生徒自身が見える世界を広げることで、はじめて問題意識を持ち、「こういう技術があれば…」とか、「こうコミュニケーションがとれれば…」など数学・理科・英語の必要性を感じ始めるのではないかなと思っています。メディアを持っている割には社会の出来事に疎い生徒も多く、新聞活用や国際交流などの社会科の取り組みにも目を向けたいと思っています。しかし、なかなか3年間横断した計画を立てられず、途中でしりすぼみしてしまうのですが…。生徒が生き生きと取り組める課題設定や、運営の方法を学びたいと日々考えています。
- ・ 学年ごとにテーマを決め、全体計画や年間指導計画も策定して、教科との関連も明確にして取り組んでいるが、積み重ねによって生徒に着けたい力が身についてきているのか実感がなかなかかわかない。
- ・ 現代的課題に対応する力をつけるためには単独教科では培えないと思います。
- ・ 総合的な学習の時間が、修学旅行の準備や進路学習の時間になってしまって、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という一連の探究的な学びの過程からかけ離れてしまっているところがある。見直しを図るべきと感じている。
- ・ 本校のカリキュラムの中で、どこまで可能なのか、各教科担当がどこまで歩み寄れるのかが不安。
- ・ 計画的にかつ効果的に実施するためには、教員数や時間に対する余裕があまりにもなさ過ぎる。

- ・何をどう行うのかが明確であれば大変意義があると感じるが、そのための学習計画を立てるための教員間での時間の確保が最大の課題であると思う。
- ・準備の時間や活動アイデアが難しい。
- ・過疎地域の小規模校であるため、村の活性化をメインに取り組んでいる。現状から地元や自分の未来を考えさせることで、「生きる力」の育成に繋がっていききたい。
- ・担当した学年の意向によってその年の総合の内容が変わってくるので、やりにくい年もあればやりやすい年もある。教員間の考えが合わないともやりたいこともやれない。どうあるべきか、結局例年通りになってしまうことの方が多いように思う。チャレンジする教員は多くはない。
- ・取り扱いをもっと柔軟にしつつ、教員が準備できるようなシステムが必要。そのためには、教員の絶対数が足りない。また、仕事の多様さもありなかなか準備に時間が当てられない。このようなことを解決していく必要があると思う。
- ・ハード、ソフト両面での充実が必要。
- ・教科の融合よりも、地域発信など特別活動をメインにしている現状だと思います。もし、教科の融合をメインに考えるなら時間的（打ち合わせなど）に厳しいと思っています。
- ・教科の融合は、カリキュラムもあり、管理職の方針があり、学校全体として取り組まないと難しい。
- ・探究型の学びは必要である。
- ・負担
 - ・教科横断的に進めるにも、全校体制の共通理解と３年間の系統性のある取り組みが必要である。また、地域の人材の活用を大いに活かしていきたいものである。探究する力は様々な領域に活かされて行くものと思う。
 - ・連携協働した主体的活動のためには、地域コーディネーターの存在が重要です。人材発掘が課題と思われます。
 - ・行事への取り組みを総合として取っている学校が多くあるが、探究的な学びをする場になってほしい。
- ・学校ごとに特色を出していくことが必要と感じる

教科横断型、というイメージが、中学校では持ちにくいと感じます。教科横断型で何をするか、ではなく、本校の総合ではこれを柱として学ばせたいので、各教科で何ができるか考える、というスタンスであれば、先生方も考えやすいようです。
- ・中学校における教科横断的な学習はなかなか難しい課題である。
- ・中学校の『総合的な学習の時間』では、教科を横断するという考え方よりも、各教科の学習内容を踏まえたカリキュラムを再構築し、それらに各教科で身につけるべき要素を織り込んだ活動を行っているケースがほとんどである。新学習指導要領の施行に伴い、各教科で身につけた見方・考え方を働かせた探究活動をどのように仕組むかを検討していくべきだと思う。
- ・〇〇市出身です。総合的な学習の時間は中学校では行事に忙殺される有様です。少なくとも私の所属している地域ではですが。総合を発達させるためには、恐らく管理職のマネジメントなどが必要になってくるのではないかと思います。また、地域特有の音楽祭(合同音楽祭というわれるもの)などが邪魔をし、なかなかカリキュラムのマネジメントも上手くいきません。これからの時代に大切なことは何か、吟味していく必要があると思われます。そういった現状で

- ・必要なことやその重要性はわかっているが、本来のぞまれるような「総合的な学習の時間」として時数を有効に使えているか…と言われると、そうではない部分も多々ある。有効な活動となるように時間を割いて計画などを練っていきたいが、他の校務に終わられてそこまで届いていない。各校の実態に合わせて行うものではあるが…だからこそ難しい部分もあると感じる。 調査等、様々お疲れ様です。（原文のママ）
- ・宿泊学習、職業体験、上級学校訪問、研修旅行などの準備のためには必須。また将来を見据えた進路学習はもちろん、高校進学のこと、職業のことなども学習が必要。それは総合でしかできない。
- ・学校の特色を出すにはいい機会ではあるが、何をするかは学校に任せっきりになっている。職員の研修にもなるが管理職のリーダーシップも問われると思う。
- ・現状、半分は、「雑多な忙しさを解決するために使える自由なコマ」という位置づけにしかなくなっていません。
- ・これからの時代を生きる生徒にとって、大事な力だと考える。
- ・横断的な学習をするには、教員間の連携とそのための時間が必要だと思います。そのためには学校として学年として、どのように子どもたちを育てていきたいかというビジョンを共有するという意識づけも大事にしたいと考えました。考える機会をいただきありがとうございました。
- ・どのような内容であれ、将来に必要な総合的な力を身につけることができると思う。各学校の個性が表れるような内容になっていくと良いのではないかな。
- ・カリキュラムマネジメント、校内研究、生徒の実態、すべて総合的に考えて、どういう総合がいいのか悩みます。
- ・英語を用いた取り組みをするためには基礎力が必要。毎時間教科横断型の活動をするのは難しいのでは？
- ・学校に実態に合わせたテーマを決めて取り組む
- ・やればやるほど力が付き、おもしろくなる時間だと思います。（中途半端では面白さに気づけない）
- ・「自ら課題を見つける」ことは、中学生にとって難しいところがある。（時間的にも）
- ・使い勝手が良い時間です。
- ・地理の「身近な地域の調査」で学習したインタビューの手法を用いて、修学旅行の研修でインタビューをし、それをパワーポイントでまとめた。また、紙芝居や人形劇風にしてまとめた班もあった。（社会科、技術、美術、国語） 社会科と技術をからめながら、○○を PR する CM を作成した。タブレットを持って課外活動を行い、それをムービーメーカーで動画編集し、発表した。
- ・中学校については、現行の教育課程だけでも、果たすべき校務がたくさんある現状ですので、生徒の実態、教員の個性や長所、地域の実態を受け、実現可能なことを実施していくという方向が良いと思います。あまり型にはめてしまうと、苦しくなってしまう可能性があると感じています。
- ・読解力不足、学力低下が叫ばれるなか、また、若い教師が増えている現場では、基本的な学び方や学習訓練を徹底的に身につけることがまず必要です。発展的な内容をさせようとして、逆にただの遊びの時間になるような難しさを感じています。
- ・子どもの実態、学校のカリキュラムにあわせた内容が大切だと思います。

- ・ これからの未来をつくる生徒に必要な資質・能力をつけていくために充実した時間にしていかなければならないと思う。
- ・ 生徒が自分自身で課題設定をして解決するような学習には遠いと感じている。見通しをもって、連携して進めないといけないと思う。
- ・ 教科の枠を超えた取り組みなど、やりたいことはあるが、実際にするととなると課題も多い。
- ・ それぞれの学年が独自に行うのではなく、学校としての３年間の計画実践が必要である
- ・ 個々の疑問や興味関心を尊重した、課題追究型の取り組みを推進したい。
- ・ 教科の枠組みを超えた取り組みは理想であるが、その教科の授業でも扱うことになると、時間が足りなくなりそうな気がする。
- ・ 原子記号と物質名（英語）の関連 身のまわりの物質についての探究活動から端を発して、自由研究的に取り組むなど。
- ・ それぞれの学年にはそれぞれの行事などでつけたい力があり、そのための総合的な学習の時間の中での事前調査や発表などによって、自分で課題をみつけたり、意見をまとめたりする経験ができています。今のこのような形で、日本語による自己表現活動を通して、生徒の力を伸ばしていけるのではないかと思います。
- ・ 生徒が主体的に活動していくことは大変意義があることだと思います。高校に探究科があるのと同様に意欲的に活動できる機会であり、充実させていきたいと思っています。
- ・ 学校で３年間を見通した活動が大切であると思う。
- ・ 本校では、総合的な学習の時間は、教科横断的な学習という認識では実施していない。教科の学習から少し離れて調べ学習を行ったり、体験学習を行ったりしている。
- ・ 地域とのかかわりが必要であり、その人材確保がやや困難である。生徒の探究が深まると、専門的な資料や知識が必要となり、教員だけでは対応が不十分となってしまう。
- ・ 進路指導と関連して、年に１回はレポートを書かせたいものである。
- ・ 「総合的な学習の時間」の時数がもう少し少なくてもよいと思う。各教科の授業時数と内容を充実させ、総合（教科横断）的な内容も取り入れていった方がよいと思う。
- ・ 特にありません
- ・ 取り組みが変化してきている。生徒の取り組みも活発化してきているので、教師側の準備を充実させるため、レクチャーして頂けるとありがたいです。
- ・ 総合の時間を探究的な活動として取り組むことが少ないと思います
- ・ 本校は準へき地校、小中併設、極小規模校、地域との関係が密（地域教育資源、人材資源が豊富）etc. ということで、総合的な学習の時間そのものと、総合と他教科の教科横断的な学習に関して、充実しているが、他校では本当にそれが難しいと感じています。